

UMS ExtraLoggingチャンネルを有効にする方法

内容

[API /gateway/implogの使用に関する正しい手順を次に示します](#)

[CURLコマンドを使用してExtraLogging IMPLog APIを使用する例を次に示します。](#)

[USERID:](#)

[重要 :](#)

UMS ExtraLogging

バージョン	R21sp1パッチ ID	API属性 :	チャンネル	トラブルシューティング :
v1	ap375053	isBindResourceExtraLoggingActive isJabberIqAuthExtraLoggingActive	bindResourceExtraLoggingActive jabberIqAuthExtraLoggingActive	XMPP
v2	ap374519	isJabberIqRosterExtraLoggingActive isRosterFlatExtraLoggingActive	jabberIqRosterExtraLoggingActive rosterFlatExtraLoggingActive	
v3	ap377180	isMessageExtraLoggingActive isMessageHistoryExtraLoggingActive	messageExtraLoggingActive messageHistoryExtraLoggingActive	N1AN2B
v4	ap377373	isReceiverBareJidLBEExtraLoggingActive isComponentProtocolExtraLoggingActive	receiverBareJidLBEExtraLoggingActive componentProtocolExtraLoggingActive	node-disconnectMAC*XMPP_Bind

* MACが外部コンポーネントとして設定されているシステムのみ :

```
UMS_CLI/System/ProfileTuning/GeneralSettings> g
profileTuningName = mucExternal
```

TACから要求されたテストによると、関連するAPI属性を使用して、1つ以上のトラブルシューティングチャンネルを有効または無効にする必要があります。

これらのパッチの元のテスト手順では、これらのExtraLogging IMPLogチャンネルを有効にできません。

元のパッチのリリースノート「test instructions」には不適切な情報が含まれています。また、APIは時間の経過とともに変更され、UMSサーバの再起動を維持できます

API /gateway/implogの使用に関する正しい手順を次に示します

1.追加のIMPロギングを有効にするには、必要なチャンネルに一致するAPI属性の名前を使用してPOST HTTPコマンドを送信する必要があります。 channel componentProtocolExtraLoggingActiveの例を次に示します。

```
POST http://xx.xxx.xxx.xxx/gateway/implog/isComponentProtocolExtraLoggingActive
```

2.チャンネルの設定を確認するには、次のAPIコマンドを送信する必要があります。

```
GET http://xx.xxx.xxx.xxx/gateway/implog
```

サーバからの応答には、個々の設定を示すチャンネルがリストされます。

```
Response: { "status":{ "code":"0300001", "type":"success", "message":"LogState Get Successfully!" }, "impLogState":{ "bindResourceExtraLoggingActive":false, "jabberIqAuthExtraLoggingActive":false, "jabberIqRosterExtraLoggingActive":false, "rosterFlatExtraLoggingActive":false, "messageExtraLoggingActive":false, "messageHistoryExtraLoggingActive":false, "receiverBareJidLBExtraLoggingActive":false, "componentProtocolExtraLoggingActive":true } }
```

5.追加のIMPログインチャンネルを無効にするには、必要なチャンネルに一致するAPI属性の名前を使用してDELETE HTTPコマンドを送信する必要があります。

```
DELETE http://xx.xxx.xxx.xxx/gateway/implog/isComponentProtocolExtraLoggingActive
```

CURLコマンドを使用してExtraLogging IMPLog APIを使用する例を次に示します。

1)ステータスの確認

```
curl -X GET -u ' '
```

2)チャンネルを有効にします。

```
curl -X POST -H "Content-Type: application/json" -u ' '
```

3)チャンネルを無効にします。

```
curl -X DELETE -H "Content-Type: application/json" -u ' '
```

USERID:

すべてのHTTP要求に対して、許可されたユーザが必要です。UMSシステムには、権限を設定できるスクリプトが既に存在します。

詳細については、UMSサーバから入手可能な次のファイルを確認してください。

```
/usr/local/broadworks/UMS_Rel_21.sp1_1.551/sbin/authorization/README-authorization.txt
```

重要:

API属性の設定はサーバ間で同期されないため、各UMSサーバを個別に設定して、両方のサーバにチャンネルを設定する必要があります。

注意: サーバの再起動後、API属性の状態は以前に設定されたままになります。